

第三十六号の八様式（第六条関係）（A4）

定期検査報告書
（防火設備）
（第一面）

報告書作成日または提出日を記載してください。（郵送の場合は発送日でも可。）

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁

所有者（所有者と管理者が異なる場合は、管理者）を記入してください。

年 月 日

所有者が複数の場合は、併記か「所有者一同」と記載してください。

報告者氏名

検査者氏名

- 【1. 所有者】
【イ. 氏名のフリガナ】
【ロ. 氏名】
【ハ. 郵便番号】
【ニ. 住所】
【ホ. 電話番号】

検査者が2人以上の場合は、代表となる検査者の氏名を記入してください。

- 【2. 管理者】
【イ. 氏名のフリガナ】
【ロ. 氏名】
【ハ. 郵便番号】
【ニ. 住所】
【ホ. 電話番号】

所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。

- 【3. 報告対象建築物】
【イ. 所在地】
【ロ. 名称のフリガナ】
【ハ. 名称】
【ニ. 用途】

第二面の6欄の「イ」が「要是正の指摘あり」であれば、「要是正の指摘あり」にチェックを入れ、それ以外の時は「指摘なし」にチェックを入れてください。
また、第二面の6欄が「既存不適格」であれば、「既存不適格」にチェックを入れてください。
※「既存不適格」にチェックがあれば、「要是正の指摘あり」にも必ずチェックが必要になります。

【4. 検査による指摘の概要】

要是正の指摘あり 既存不適格 指摘なし

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日		
第 号		
係員氏名		

(第二面)

防火設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 階
【ロ. 建築面積】
【ハ. 延べ面積】

「イ」「ロ」「ハ」「ニ」について、検査対象の防火設備を有する建築物に関する直前の確認及び完了検査について、それぞれ記入してください。
「指定確認検査機関」の場合は、併せてその名称を記入してください。

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 年 月 日 第 号
【ロ. 確認済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ()
【ハ. 検査済証交付年月日】 年 月 日 第 号
【ニ. 検査済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ()

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 年 月 日実施
【ロ. 前回の検査】 実施 (年 月 日報告) 未実施
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 有 無

【4. 防火設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士
防火設備検査員
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】

「イ」は、検査が終了した年月日を記入し、「ロ」は検査対象の防火設備に関する直前の報告について記入してください。
※報告日は前年度の報告書を確認してください。紛失等により報告日が不明であれば、空欄とし、「ハ」の「無」にチェックを入れてください。

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 ()
防火設備検査員
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】

()

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

・代表となる検査者及び検査に携わった全ての検査者を記入してください。(※検査資格の無い方は記載しないでください。)

・「イ」は、検査者の有する資格について記入してください。検査者が防火設備検査員である場合は、資格者証の交付番号を番号欄に記入して下さい。

・「ニ」は、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所の場合は、事務所登録番号を併せて記入してください。

・「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、法人に勤務していない場合は検査者の住所について記入してください。

「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」にチェックを入れ、当該指摘された箇所の全てが既存不適格の場合は併せて「既存不適格」にチェックを入れてください。

【5. 防火設備の概

【イ. 避難安全

区画避難

階避難安

全館避難

その他（

【ロ. 防火設備

防火扉（

耐火クロ

その他（

「イ」の「要是正の指摘あり」にチェックを入れた場合（「既存不適格」にチェックを入れた場合を除く。）は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。

※「既存不適格」にチェックがあれば、「要是正の指摘あり」にも必ずチェックが必要になります。また、検査結果票において、既存不適格ではない「要是正の指摘あり」が1つでもあれば、「既存不適格」のチェックは入れないでください。

【6. 防火設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり（ 既存不適格） 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 有（ 年 月に改善予定） 無

【7. 防火設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 有 無

【ロ. 不具合記録】 有 無

【ハ. 改善の状況】 実施済 予定（ 年 月に改善予定） 予定なし

【8. 備考】

前回の検査時以降に把握した機器の故障等に起因する不具合について、第三面の「不具合の概要」欄に記入したときは、「イ」の「有」にチェックを入れ、不具合の記録がある場合は「ロ」の「有」にチェックを入れ、記録が無いときは「ロ」の「無」にチェックを入れてください。

(第三面)

防火設備に係る不具合の状況

※第三面は、前回の検査時以降に不具合を把握していない場合は、添付を省略することができます。

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善（予定）年月	改善措置の概要等

第三面について

・ 前回検査時以降に把握した建築物に係る不具合のうち、第二面の6欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。

・ 「不具合の概要」欄は、当該不具合の箇所を特定した上で、当該不具合内容を記入してください。

・ 「考えられる原因」欄は、当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入してください。ただし、原因が不明な場合は「不明」と記入してください。

・ 「改善（予定）年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善予定を行う予定がある場合には改善予定年月を記入し、改善を行う予定がない場合は「-」を記入してください。

・ 「改善措置の概要等」欄は、既に改善済み又は改善予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。